

フェリス女学院大学学則

第1章 目的及び使命

(目的及び使命)

第1条 本学は、キリスト教を教育の基本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教育を授け、専門の学問を教授研究し、もって真理と平和を愛し、人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

第1章の2 自己点検・評価

(自己点検・評価)

第1条の2 本学の設置目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、不断の自己点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本学は、前項の自己点検及び評価の結果について、本学の職員以外の者による検証を行うよう努める。

3 自己点検・評価に関し必要な事項は、別に定める。

第2章 組織及び学生収容定員

(組織)

第2条 本学に次の学部・学科を置く。

- (1) 文学部 英語英米文学科 日本語日本文学科 コミュニケーション学科
- (2) 音楽学部 音楽芸術学科
- (3) 国際交流学部 国際交流学科

(学部の教育研究目的)

第2条の2 各学部の教育研究目的は、次のとおりとする。

(1) 文学部

人文科学の領域に関する高度の教育研究を行い、多様化する社会で他者と共生し、主体的に表現できる豊かな素養を身に付けた人材を養成する。

(2) 音楽学部

音楽の領域を中心とした高度の教育研究を行い、現代文化に対する理解を深めることにより、社会に積極的にかかわる、創造性豊かな人材を養成する。

(3) 国際交流学部

国際交流の領域に関する高度の教育研究を行い、グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識を身に付けた人材を養成する。

(学生収容定員)

第2条の3 学生収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	2年次 編入学定員	収容定員
文学部	英語英米文学科	90名	—	360名
	日本語日本文学科	90名	—	360名
	コミュニケーション学科	90名	—	360名
	計	270名	—	1,080名

音楽学部	音楽芸術学科	75 名	—	300 名
国際交流学部	国際交流学科	197 名	4 名	800 名
合 計		542 名	4 名	2,180 名

(全学教養教育機構)

第 2 条の 4 本学に全学教養教育機構を置く。

2 全学教養教育機構に関し必要な事項は、別に定める。

(大学院)

第 2 条の 5 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第 3 章 授業科目

(授業科目)

第 3 条 本学の授業科目は、共通科目、専門科目及び教職に関する科目とし、その科目名及び単位数は、それぞれ別表第 1、別表第 2 及び別表第 3 のとおりとする。

2 共通科目は、C L A コア科目及び語学科目とする。

(外国人留学生に関する授業科目)

第 3 条の 2 前条のほか、外国人留学生を対象として別表第 4 のとおり日本語科目及び日本事情に関する科目を置く。

第 4 条から第 8 条まで 削除

第 4 章 履修方法、単位及び卒業の認定

(修業年限)

第 9 条 本学の修業年限を 4 年とする。

(在学期間)

第 9 条の 2 在学期間は、8 年を超えることができない。

2 第 25 条の 2 に規定する 2 年次編入学生の在学期間は、6 年を超えることができない。

3 第 25 条の 3 に規定する 3 年次編入学生の在学期間は、4 年を超えることができない。

(履修希望科目の届出)

第 10 条 学生は、毎学期始めに履修希望の授業科目を学部長に届け出て、その承認を受けなければならない。

2 休学期間中は、履修希望科目の届出はできない。

3 留学期間中は、履修希望科目の届出はできない。ただし、留学を終了した学期に願い出た者について、この届出を許可することがある。必要な手続及び条件については、別に定める。

(他学部他学科専門科目の履修)

第 11 条 学生は、他学部他学科の専門科目を履修することができる。

(単位認定試験)

第 12 条 単位の認定は、平常点評価及び試験によって行う。ただし、卒業論文、卒業レポート、卒業論文・卒業制作、卒業演奏、卒業研究及び卒業プロジェクトの単位の認定は審査によって行うものとし、必要に応じ、口頭試問を併せて行うことができる。

(受験資格)

第 13 条 学生は、履修授業科目について 3 分の 2 以上出席しなければ、当該授業科目の試験を

受けることができない。

(単位の授与)

第14条 授業科目の到達目標を達成した者には、所定の単位を与える。

(入学前の既修得単位等の認定)

第14条の2 学生が入学前に修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

(他の大学等における授業科目の履修)

第14条の3 本学の学生が他の大学等において修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項第1号の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、前条により本学において修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(遠隔授業)

第14条の4 本学が教育上有益と認めるときは、当該授業科目を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、60単位を超えないものとする。

(成績評価)

第15条 授業科目の成績は、S、A、B、C、F、又は合格、不合格の7種類の評語をもって表わし、S、A、B、C、又は合格を合格とする。

(単位)

第16条 授業科目の単位の計算方法は、次の基準によるものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実技、実習及び実験については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽学部における個人指導による実技については、別に定める。

第17条 削除

(卒業の要件)

第18条 卒業資格の認定を得るためには、本学に4年以上在学し、別表第5に定めるところにより卒業に必要な単位を修得しなければならない。

(廃止科目等の取扱い)

第18条の2 第3条関係別表第1、別表第2及び別表第3に定める授業科目のほか、学生が既に履修した授業科目の科目名及び修得した単位数については、なおその効力を有する。

(外国人留学生の卒業の要件)

第18条の3 外国人留学生については、第18条の要件に加え、次の各号の要件を満たさなければならない。

(1) 第3条の2に定める日本語科目 第18条関係別表第5の語学科目に代えて 10単位

(2) 第3条の2に定める日本事情に関する科目 4単位

2 前項第1号に定める科目は語学科目とみなす。

3 第1項第1号については、そのうち2単位は、学部の指定する授業科目を修得することにより代えることができる。

4 文学部英語英米文学科の外国人留学生については、第1項第1号に加え英語科目12単位又は20単位を必修とする。

(教育職員免許状)

第19条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる免許状の種類は、次のとおりとする。

免許状の種類	免許教科	学部・学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語	文学部 英語英米文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語	文学部 日本語日本文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽	音楽学部 音楽芸術学科
中学校教諭一種免許状	社 会	国際交流学部 国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	国際交流学部 国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	公 民	国際交流学部 国際交流学科

(日本語教員養成講座)

第19条の2 本学に日本語教員養成講座を置く。

2 前項の講座に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位授与)

第20条 第18条の規定により教授会の議を経て、卒業資格の認定を受けた者には、学長が卒業

を決定し、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関する規則は、別に定める。

第21条 削除

第6章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から 9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(授業期間)

第22条の2 授業を行う期間は、前期と後期を合わせて年間35週とする。

(休業日)

第23条 休業日は、次の各号に掲げるところによる。ただし、学長は、授業の都合等により、これを変更することができる。

(1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(2) 日曜日、土曜日

(3) 開学記念日 6月1日

(4) 夏季休業日 8月1日から 9月20日まで

(5) 冬季休業日 12月22日から 1月10日まで

(6) 春季休業日 3月16日から 3月31日まで

(7) 臨時休業日については、学長がその都度定める。

第7章 入学、留学、休学、退学等

(入学時期)

第24条 学生の入学時期は、学年の始めとする。ただし、教授会が十分な理由があると認めたときには、教育上支障がない限り、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第25条 本学の1年次に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの
（2年次編入学）

第25条の2 本学の2年次に編入学（転入学を含む。）することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学に1年以上（休学期間を除く。）在学し、30単位以上を修得した者
- (5) 学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者
- (6) 学校教育法第58条の2に規定する高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）の専攻科の課程を修了した者
- (7) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者（日本における外国の大学又は短期大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校を含む。）

2 第2条の3に規定するもののほか、本学への2年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可する。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

（3年次編入学）

第25条の3 本学の3年次に編入学（転入学を含む。）することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学に2年以上（休学期間を除く。）在学し、62単位以上を修得した者
- (5) 学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者
- (6) 学校教育法第58条の2に規定する高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）の専攻科の課程を修了した者
- (7) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者（日本における外国の大学又は短期大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校を含む。）

2 本学への3年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可する。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(出願)

第26条 本学への入学を志願する者は、所定の期限までに、志願手続（出願登録）を行い、出身学校の調査書等出願資格を証明する書類その他別に定める書類を提出するとともに、入学検定料を納入しなければならない。

(入学者の選抜)

第26条の2 入学志願者に対しては、学力検査等選抜を行い、教授会及び大学評議会の議を経て、学長が合格者を決定する。

2 選抜の方法、時期については、教授会が定める。

(入学手続)

第26条の3 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の期限までに、入学手続金を納入しなければならない。

2 入学手続金については、第36条第1項に定めるところによる。

(宣誓)

第26条の4 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の宣誓をしなければならない。

2 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の期限までに、指定された手続を済ませ、次に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 誓約書・保証書（本学所定）

(2) 住民票

(3) 卒業証明書又は修了証明書（卒業見込み又は修了見込みで出願した者に限る。）

(4) 前3号のほか、本学が定める書類

(入学の決定)

第26条の5 学長は、前2条の手続を行った者について、入学を決定するものとする。

2 学長は、前2条の手続を行わない者の入学を取り消すことができる。

(保証人)

第27条 保証人は、父母又は独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責任を果たし得る者でなければならない。

2 保証人は、保証する学生の在学中、その一身上に関する事項について一切の責務を負うものとする。ただし、金銭上の責任については、第26条の4第2項第1号に規定する誓約書・保証書に示された極度額の範囲内とする。

3 保証人が何らかの事由によって責務を果たし得ない場合又は保証人を変更しようとする場合には、新たに保証人を選定して速やかに届け出なければならない。

4 本学が保証人として不適当と認めたときは、その変更を命ずることができる。

(転居、改姓の届出)

第28条 学生又は保証人が転居、改姓したときは、その旨を速やかに届け出なければならない。

(留学)

第28条の2 外国の大学に留学を志願する者は、所定の手続により、許可を得て留学することができる。

2 留学の期間は、1年を限度として第9条の2に定める在学期間として扱う。

3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

第29条 病気その他やむを得ない理由により修学することができない者は、保証人連署の上、所定の期日までに願い出て、1学期又は1年を区分として休学することができる。

2 校医の診断に基づき病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第29条の2 休学できる期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者は、学長の許可を得て、なお1年以内の休学をすることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第9条の2の在学期間に算入しない。

(出席停止)

第30条 学長は、感染症にかかった学生又はそのおそれのある学生に対して、出席停止を命ずることができる。

(出席停止期間)

第30条の2 出席停止期間は、学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第19条の規定に準じて、学長が決定する。

(転学部及び転学科)

第31条 所属する学部、学科から他の学部、学科に転学部、転学科を願い出た者については、選考の上、これを許可することがある。

2 転学部、転学科に関し必要な事項は、別に定める。

第32条 削除

(退学)

第33条 退学しようとする者は、保証人連署の上、願い出なければならない。ただし、退学する日を含む学期の授業料等学納金を納入していなければならない。

(除籍)

第34条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

- (1) 第9条の2に定める在学期間を超えて卒業資格を得られない者
- (2) 学生納付金の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (3) 第29条の2第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない者
- (4) 死亡した者
- (5) 長期間にわたり行方不明の者

(再入学)

第34条の2 本学を退学した者又は本学から除籍を受けた者が再入学を願い出たときは、選考の上、これを許可することがある。ただし、前条第1号により除籍を受けた者は、再入学を願い出ることはいない。

2 再入学に関し必要な事項は、別に定める。

(学籍の異動に係る決定)

第34条の3 留学、休学、復学、転学、除籍及び再入学については、教授会の意見を参酌した

上で、学長が決定する。

第8章 入学検定料、学生納付金

(入学検定料)

第35条 入学検定料の額は、別表第6に定めるところによる。

- 2 入学検定料を減免することがある。
- 3 前2項のほか、入学検定料の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

(入学手続金)

第36条 入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、本学が定める期間内に、入学金及び入学年度前期分の授業料等学納金（以下「学納金」という。）を納入しなければならない。

- 2 前項の規定に従って入学金及び学納金を納入した者が、入学以前の本学が定める期日までに入学辞退を申し出た場合は、既に納めた学納金を返還するものとする。ただし、入学金は返還しない。

(学納金)

第36条の2 学生は、学期ごとに当該学期分の学納金を、前期分については4月、後期分については10月に納入しなければならない。

- 2 学生は、学納金のうち施設設備費については、入学した年度から在学する8学期間（2年次編入学者にあつては6学期間、3年次編入学者にあつては4学期間）納入するものとする。

(留学者及び休学者の扱い)

第36条の3 第28条の2第1項の規定により本学から外国の大学に留学する者（以下「留学者」という。）は、本学が定める期間内に、所定の授業料及び施設設備費を納入しなければならない。

- 2 第29条の規定により休学する者（以下「休学者」という。）は、本学が定める期間内に、所定の在籍料を納入するものとし、休学期間中は施設設備費の納入を必要としない。ただし、休学者は、復学後、前条第2項に定められた残りの施設設備費を本学が定める期間内に納入しなければならない。

(納付額)

第36条の4 前3条の額は、別表第7に定めるところによる。

(編入学者の学生納付金)

第36条の5 編入学者の入学金及び学納金は、編入学する年次の額を適用する。

(再入学者の学生納付金)

第36条の6 第34条の2第1項の規定による再入学を願い出る者の入学検定料は、再入学を希望する年度の入学検定料の2分の1の額とする。

- 2 再入学の許可を受けた者の入学金は、再入学する年度の入学金の2分の1の額とし、学納金は、再入学する年度の1年次生に適用する額とする。
- 3 退学又は除籍以前の在学期間が第9条に規定する修業年限を超えている者については、学納金のうち施設設備費は、納入を必要としない。

(納入方法等)

第37条 第35条から前条までに定めるもののほか、学生納付金の額、納入方法等は、別に定める。

- 2 いったん納めた学生納付金は、別に定める場合を除き、返還しない。

第9章 教職員組織

(教職員組織)

第38条 本学に学長、副学長を置く。

- 2 本学に次の教職員を置く。

教授

准教授

助教

講師

助手

副手

事務職員

医療職員

- 3 学長、副学長及び教職員の職務は、学校教育法その他法令の定めるもののほか、別に定めるところによる。

第10章 教授会及び大学評議会

(教授会)

第39条 本学の各学部教授会を置き、各学部所属する専任教員をもって構成する。

- 2 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

(大学評議会)

第39条の2 本学に大学評議会を置く。

- 2 大学評議会に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 削除

第40条 削除

第12章 図書館、研究施設及びセンター

(附属図書館)

第41条 本学に附属図書館を置く。

- 2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(教育研究施設)

第42条 本学に教育研究施設を置くことができる。

- 2 教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(センター)

第42条の2 本学に教育・研究の特定分野を所管する附属のセンターを置くことができる。

- 2 センターに関し必要な事項は、別に定める。

第13章 科目等履修生、交流学生、外国人留学生及び交換留学生

(科目等履修生)

第43条 学長は、本学学生でない者で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

- 2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、選考料を添えて学長に願い出なければ

ばならない。

3 科目等履修生として履修を許可された者は、所定の期日までに登録料・施設設備利用料及び受講料を納入しなければならない。ただし、履修する科目について単位の認定を希望する者は、単位認定料を併せて納入しなければならない。

4 前2項の額は、別表第8に定めるとおりとする。

5 既に納めた選考料、登録料・施設設備利用料、受講料及び単位認定料は、いかなる理由にかかわらず返還しない。

6 前各項に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(交流学生)

第43条の2 学長は、本学と協定のある日本国内の他の大学に在籍する学生で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、交流学生として履修を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

3 前2項に定めるもののほか、交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第44条 学長は、外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(交換留学生)

第44条の2 学長は、本学と協定のある外国の大学の学生については、交換留学生として入学を許可することができる。

2 交換留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 公開講座

(公開講座)

第45条 本学に、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第15章 削除

第46条 削除

第16章 学内諸施設

(厚生施設)

第47条 本学に保健室等必要な厚生施設を置く。

(寄宿舍)

第48条 本学に寄宿舍を置くことができる。

2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

(体育館)

第48条の2 本学に体育館を置く。

2 体育館に関し必要な事項は、別に定める。

(その他の厚生施設)

第49条 前3条に定めるもののほか、大学に必要な厚生施設を置くことができる。

第17章 奨学金

(奨学金)

第49条の2 本学に奨学金制度を設け、学業成績、人物ともに優秀な者又は経済的理由により修学困難な者に対しては、選考の上、学長が奨学金の授与を決定する。

2 奨学金に関し必要な事項は、別に定める。

第18章 賞罰

(表彰)

第50条 学生としての本分を全うし、特に他の模範となると認められる者があるときは、これを表彰する。

2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第51条 本学の学則及び訓育の趣旨に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、これを懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席常でない者

(4) 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 学生の処分に関し必要な事項は、別に定める。

(賞罰の決定)

第51条の2 前2条に規定する賞罰は、教授会の意見を参酌した上で、学長が決定する。

第19章 雑則

(その他の事項)

第52条 この学則に定めるもののほか、本学の教育研究に関し必要な事項は、学長が決定する。

2 前項により決定した教育研究に関わる事項は、学長発信をもって大学教職員に周知するものとする。

(学則の改正)

第53条 この学則の改正は、教授会及び大学評議会の議を経て、理事会の承認を得て行うものとする。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和40年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和42年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和48年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和52年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和53年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和54年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和60年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和62年度から平成7年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	140
国文学科	140
計	280

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和63年度から平成2年度までの間の国際文化学科の総定員は、次のとおりとする。

年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
学科	名	名	名
国際文化学科	80	160	240

附 則

- 1 本学則は、1989年4月1日から施行する。ただし、第14条の2については、1988年4月1日

から適用する。

- 2 第40条の規定にかかわらず平成元年度から平成3年度までの間の音楽学部の総定員は、次のとおりとする。

年度 学部 学科	平成元年度	平成2年度	平成3年度
音楽学部	名	名	名
声楽学科	20	40	60
器楽学科	20	40	60
楽理学科	10	20	30
計	50	100	150

附 則

本学則は、1990年4月1日から施行する。ただし、改正後の学則第8条、第18条並びに第19条にかかわらず、1989年度以前入学生は、なお従前のとおりとする。

附 則

本学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の音楽学部声楽学科及び器楽学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
音楽学部	名
声楽学科	30
器楽学科	40

附 則〔1991年5月23日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1991年9月6日理事会決定〕

本学則は、1991年9月6日から施行する。ただし、第7条別表2のC、第18条、第37条別表4及び第43条については1992年4月1日から適用する。

附 則〔1992年2月27日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第40条及び附則（昭和62年4月1日施行）の規定にかかわらず、1992年度から1999年度までの間の文学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員	
	1992年度～1995年度	1996年度～1999年度
文学部	名	名
英文学科	155	135
国文学科	155	135
国際文化学科	95	95

附 則〔1992年3月24日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。

- 2 第18条において、1992年度以前の入学生に適用する表の区分は、第3条の規定に基づき、「一般教育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」及び「総合課題科目」に、「保健体育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」に、「外国語科目」を「共通科目」の「語学科目」にそれぞれ読み替えるものとし、音楽学部の「基礎教育科目」を、「音楽学部専門科目」の該当する授業科目にそれぞれ読み替えるものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年3月11日から施行する。ただし、文学部国文学科の名称に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。
- 2 文学部国文学科は、改正後の学則の規定にかかわらず、1993年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学なくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

本学則は、1993年3月16日から施行する。ただし、音楽学部の教育職員免許状に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1992年9月21日理事会決定〕

本学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1993年3月22日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第15条の規定にかかわらず、1992年度以前入学生については、授業科目の試験の成績は、A、B、C、Fの4種類の評語をもって表わし、A、B、Cを合格とする。

附 則〔1993年12月20日理事会決定〕

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第3条の別表1のC及び別表2のA、B、C、第3条の2の別表4及び第18条第1項の文学部1993年度以降入学生に適用する表は、1993年4月1日から適用する。

附 則〔1994年5月23日理事会決定〕

この学則は、1994年5月23日から施行する。ただし、第18条第1項の文学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生並びに音楽学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生に適用する表中、専門教育科目の帰国子女に係る必修科目の廃止については、1994年4月1日から適用する。

附 則〔1994年10月24日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年2月28日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年3月27日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1996年度入学試験から適用する。
- 2 改正後の第2条の2及び附則（1992年4月1日施行）の規定にかかわらず、1996年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	155
日本文学科	155

- 3 1992年度以前入学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 文学部国際文化学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、1997年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 改正後の第2条の2の規定にかかわらず、1997年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科並びに国際交流学部国際交流学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	135
日本文学科	145
国際交流学部	
国際交流学科	155

- 4 1993年度以前入学者及び文学部国際文化学科在学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年2月27日理事会決定〕

- この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 音楽学部1993年度から1996年度入学者に適用する各学科専門科目は、改正後の第3条関係別表2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年9月8日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1997年12月11日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1998年2月26日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1999年2月22日理事会決定〕

この学則は、1999年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5－1に規定する入学検定料の額は、1999年度入学試験から適用する。

附 則〔1999年5月25日理事会決定〕

- この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2000年度から2003年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科、音楽学部声楽学科及び器楽学科、国際交流学部国際交流学科の入学定員は、改正後の第2条の2の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員			
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
文学部	名	名	名	名
英文学科	125	121	118	115
日本文学科	125	122	118	114
音楽学部				
声楽学科	29	28	27	26
器楽学科	53	51	49	47
国際交流学部				
国際交流学科	161	159	158	156

附 則〔1999年10月29日理事会決定〕

- この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 音楽学部1996年度以前入学者に適用する音楽学部共通専門科目は、改正後の第3条関係別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 文学部1995年度以前入学者及び音楽学部1996年度以前入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2000年2月4日理事会決定〕

この学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則〔2001年2月19日理事会決定〕

- この学則は、2001年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2001年度入学試験から適用する。
- 文学部1996年度及び1997年度入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2002年3月25日理事会決定〕

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則〔2002年12月16日理事会決定〕

- この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 音楽学部楽理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2004年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔2003年2月25日理事会決定〕

- この学則は、2003年4月1日から施行する。
- 改正後の第35条第4項に規定する入学検定料の減免については、2003年度入学試験から適用する。
- 音楽学部器楽学科2000・2001・2002年度入学者の卒業に必要な単位の改正は、2003年2月25日から施行し、2000年4月1日から適用する。

附 則〔2003年5月29日理事会決定〕

この学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則〔2003年11月27日理事会決定〕

この学則は、2003年11月27日から施行する。

附 則〔2004年2月26日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2004年3月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2005年度入学試験から適用する。
- 2 音楽学部声楽学科及び器楽学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2005年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 音楽学部声楽学科及び器楽学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 1996年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学者に係る入学金及び授業料等学納金の額は、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、2004年度以前入学者に準じて納入しなければならない。

附 則〔2005年2月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者及び2004年度入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、それぞれ改正後の第18条の2の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行し、2006年度入学試験から適用する。

附 則〔2005年9月5日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年2月23日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年3月23日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行し、2007年度入学試験から適用する。

附 則〔2006年10月26日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の第36条及び第36条の2に規定する納入方法は、2007年度入学試験より適用する。
- 2 2006年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2の規定に

にかかわらず、なお従前の例による。

- 3 2007年度及び2008年度3年次編入学者の施設設備費の納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 4 2007年度2年次編入学者の施設設備費納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学試験から適用する。

附 則〔2008年2月28日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則〔2008年3月27日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学者から適用する。

附 則〔2009年2月26日理事会決定〕

この学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則〔2009年5月28日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年2月25日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年3月25日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行し、2011年度入学試験から適用する。

附 則〔2010年10月28日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2011年2月24日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2012年2月23日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年3月22日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年10月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 文学部英文学科及び日本文学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2014年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 文学部英文学科及び日本文学科在学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 文学部英文学科在学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 文学部英文学科及び日本文学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

- 1 この学則は、2013年2月28日から施行し、2011年4月1日から適用する。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正後の第3条関係別表第1-Cに規定する「フランス語Ⅱs（L L）」「ドイツ語Ⅱs（L L）」「スペイン語Ⅱs（L L）」「中国語Ⅱs（L L）」「朝鮮語Ⅱs（L L）」については、2003年4月1日から適用する。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2013年4月1日から施行する。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行し、2014年度入学試験から適用する。

附 則〔2014年3月27日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行する。

附 則〔2014年10月23日理事会決定〕

この学則は、2016年4月1日から施行し、2016年度入学試験から適用する。

附 則〔2015年2月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則〔2015年3月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則〔2016年3月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 2017年度編入学者及び2018年度3年次編入学者の入学金及び学納金については、改正後の第36条の5の規定により、改正後の第36条の4関係別表第7-1を適用する。

附 則〔2016年5月26日理事会決定〕

この学則は、2017年4月1日から施行する。

附 則〔2017年2月23日理事会決定〕

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 2016年度以前に入学した者の第3条第2項の適用については、なお従前の例による。

附 則〔2018年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。ただし、改正後の第18条の3に規定する外国人留学生の卒業に必要な単位及び改正後の第18条関係別表第5に規定する卒業に必要な単位は2017年4月1日から適用する。
- 2 2016年度以前入学の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2018年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部演奏学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2019年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 音楽学部演奏学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 音楽学部演奏学科編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定

にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2018年3月22日理事会決定〕

この学則は、2018年3月22日から施行し、2017年7月1日から適用する。

附 則〔2018年10月25日理事会決定〕

この学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則〔2019年2月28日理事会決定〕

この学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則〔2020年2月27日理事会決定〕

この学則は、2020年4月1日から施行する。

附 則〔2020年3月26日理事会決定〕

この学則は、2020年4月1日から施行する。

附 則〔2021年2月25日理事会決定〕

この学則は、2021年4月1日から施行する。

附 則〔2021年3月25日理事会決定〕

1 この学則は、2021年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、改正後の第3条関係別表第1－Dに規定する「英語e (Extensive Reading)」については、2015年4月1日から適用する。

附 則〔2022年2月24日理事会決定〕

この学則は、2022年4月1日から施行する。

附 則〔2023年3月23日理事会決定〕

この学則は、2023年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）

共通科目

（ ）内は単位数

A 基礎教養科目
2016年度以前入学者

キリスト教 I	(2)	ミクロ経済学	(2)
哲学A	(2)	経営学入門A	(2)
哲学B	(2)	経営学入門B	(2)
心理学	(2)	ボランティア論	(2)
青年心理	(2)	ボランティア活動 1	(1)
ジェンダーと教育の歴史	(2)	ボランティア活動 2	(2)
ジェンダー論入門	(2)	ボランティア活動 3	(6)
ジェンダーと人権	(2)	文学（日本文学） 1	(2)
ジェンダーから学ぶ現代社会	(2)	文学（日本文学） 2	(2)
男性学	(2)	文学（日本文学） 3	(2)
ジェンダーを考える 1	(2)	文学（日本文学） 4	(2)
ジェンダーを考える 2	(2)	文学（外国文学） 1	(2)
ジェンダーを考える 3	(2)	文学（外国文学） 2	(2)
地域社会と女性リーダー	(2)	文学（外国文学） 3	(2)
子ども・教育・保育	(2)	文学（外国文学） 4	(2)
論理学	(2)	音楽A	(2)
数的思考の初歩	(2)	音楽B	(2)
読み書きのスキル（文学系）	(2)	音楽実技（声楽アンサンブル入門）	(1)
読み書きのスキル（社会系）	(2)	音楽実技（ピアノ）	(1)
今年の一冊	(2)	音楽実技（弦楽器）	(1)
聞く話すのスキル	(2)	音楽実技（管楽器）	(1)
情報とメディアのリテラシー	(2)	音楽実技（声楽）	(1)
読書とメディア	(2)	音楽実技（オルガン）	(1)
社会科学入門	(2)	音楽社会学	(2)
近現代史入門	(2)	美術芸術論	(2)
社会経済史	(2)	舞台芸術入門	(2)
社会学A	(2)	デザインと表現	(2)
マスコミュニケーション論A	(2)	色彩と表現	(2)
マスコミュニケーション論B	(2)	ことばとデザイン	(2)
現代における法学入門	(2)	メディア・デザイン	(2)
民法（家族法A）	(2)	ファッションデザイン論	(2)
民法（家族法B）	(2)	コピーライティング演習	(2)
日本国憲法	(2)	科学技術入門	(2)
商法・会社法	(2)	数学の基礎	(2)
消費者関連法A	(2)	統計の基礎	(2)
消費者関連法B	(2)	環境学入門	(2)
行政学A	(2)	生き物との共生	(2)
行政学B	(2)	情報科学	(2)
経済学入門	(2)	情報リテラシー：コンピュータサイエンス入門	(2)
現代の経済問題	(2)	情報リテラシー：データサイエンス入門	(2)
社会保障論	(2)	健康・スポーツ論	(2)
マクロ経済学	(2)	スポーツ実習	(1)

B 総合課題科目

2016年度以前入学者

キリスト教Ⅱ (キリスト教と諸宗教)	(2)	弁論と説得	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教の歴史)	(2)	議論と意思決定	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教の歴史2)	(2)	市民活動の役割と意義	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と倫理)	(2)	キャリア形成の理解	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想1)	(2)	キャリア系の知識を深める	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想2)	(2)	社会人基礎力の修得と実践	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想3)	(2)	実践マーケティング	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と社会)	(2)	キャリアデザインとウェルビーイング	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と法律)	(2)	キャリア実習 (短期インターンシップ)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と聖書1)	(2)	キャリア実習 (長期インターンシップ)	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と聖書2)	(2)	転換の時代を生きる	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と文学1)	(2)	環境と人間	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と文学2)	(2)	世界とつながる音楽の力	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と音楽)	(2)	女性のキャリア	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と芸術)	(2)	地域と環境から見た未来	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教とことば)	(2)	ボランティア活動が変える世界	(2)
キリスト教Ⅲ (キリスト教とボランティア)	(2)	21世紀のオリンピックとパラリンピック	(2)
	(2)	グローバル時代の対話と協調	(2)
キリスト教Ⅳ (キリスト教とフェリス女学院)	(2)	21世紀の戦争と平和	(2)
	(2)	文化の創造と継承	(2)
フェリス女学院で学ぶということ	(2)	私たちが学びたいこと	(2)
他者との共生: For Others	(2)	学びの世界を広げる	(2)
分析的・批判的思考1	(2)	新たな学びの世界への招待	(2)
分析的・批判的思考2	(2)		

C CLAコア科目

2017年度以降入学者

キリスト教Ⅰ	(2)	哲学A	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と諸宗教)	(2)	哲学B	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教の歴史)	(2)	心理学	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教の歴史2)	(2)	青年心理	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と倫理)	(2)	ジェンダーと教育の歴史	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想1)	(2)	ジェンダー論入門	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想2)	(2)	ジェンダーと人権	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想3)	(2)	ジェンダーから学ぶ現代社会	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と社会)	(2)	男性学	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と法律)	(2)	ジェンダーを考える1	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と聖書1)	(2)	ジェンダーを考える2	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と聖書2)	(2)	ジェンダーを考える3	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と文学1)	(2)	地域社会と女性リーダー	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と文学2)	(2)	子ども・教育・保育	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と音楽)	(2)	文学 (日本文学) 1	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と芸術)	(2)	文学 (日本文学) 2	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教とことば)	(2)	文学 (日本文学) 3	(2)
キリスト教Ⅲ (キリスト教とボランティア)	(2)	文学 (日本文学) 4	(2)
	(2)	文学 (外国文学) 1	(2)
キリスト教Ⅳ (キリスト教とフェリス女学院)	(2)	文学 (外国文学) 2	(2)
	(2)	文学 (外国文学) 3	(2)

文学（外国文学） 4	(2)	統計の基礎	(2)
音楽1 A	(2)	数的思考の初歩	(2)
音楽2 A	(2)	科学技術入門	(2)
音楽1 B	(2)	環境学入門 1	(2)
音楽2 B	(2)	環境学入門 2	(2)
音楽実技（声楽アンサンブル入門）	(1)	情報科学2	(2)
音楽実技（ピアノ）	(1)	情報科学4	(2)
音楽実技（弦楽器）	(1)	健康・スポーツ論	(2)
音楽実技（管楽器）	(1)	スポーツ実習	(1)
音楽実技（声楽）	(1)	読み書きのスキル（文学系）	(2)
音楽実技（オルガン）	(1)	読み書きのスキル（社会系）	(2)
音楽社会学	(2)	聞く話すのスキル	(2)
美術芸術論	(2)	分析的・批判的思考 1	(2)
舞台芸術入門	(2)	分析的・批判的思考 2	(2)
デザインと表現	(2)	弁論と説得	(2)
色彩と表現	(2)	議論と意思決定	(2)
ことばとデザイン	(2)	情報とメディアのリテラシー 1	(2)
メディア・デザイン	(2)	情報とメディアのリテラシー 2	(2)
ファッションデザイン論	(2)	読書とメディア	(2)
コピーライティング演習	(2)	今年の一冊	(2)
生命科学と倫理A	(2)	ボランティア論	(2)
生命科学と倫理B	(2)	ボランティア活動 1	(1)
マスコミュニケーションと思想	(2)	ボランティア活動 2	(2)
社会科学入門	(2)	ボランティア活動 3	(6)
近現代史入門	(2)	市民活動の役割と意義	(2)
社会経済史	(2)	情報リテラシー：コンピュータサイエンス入門	(2)
社会学	(2)	情報リテラシー：データサイエンス入門	(2)
マスコミュニケーション論	(2)	キャリア形成の理解 1	(2)
現代における法学入門	(2)	キャリア形成の理解 2	(2)
日本国憲法	(2)	キャリア系の知識を深める 1	(2)
家族と法A	(2)	キャリア系の知識を深める 2	(2)
家族と法B	(2)	キャリア系の知識を深める 3	(2)
消費者と法A	(2)	社会人基礎力の修得と実践 1	(2)
消費者と法B	(2)	社会人基礎力の修得と実践 2	(2)
商法・会社法	(2)	実践マーケティング	(2)
経済学入門	(2)	キャリアデザインとウェルビーイング	(2)
マクロ経済学	(2)	キャリア実習（短期インターンシップ）	(1)
ミクロ経済学	(2)	キャリア実習（長期インターンシップ）	(2)
現代の経済問題	(2)	未来の環境を展望する 1	(2)
社会保障論	(2)	未来の環境を展望する 2	(2)
行政学A	(2)	未来の環境を展望する 3	(2)
行政学B	(2)	未来の環境を展望する 4	(2)
経営学入門A	(2)	未来の環境を展望する 5	(2)
経営学入門B	(2)	未来の環境を展望する 6	(2)
企業と倫理	(2)	世界とつながる音楽の力	(2)
転換の時代を生きる 1	(2)	フェリス女学院で学ぶということ	(2)
転換の時代を生きる 2	(2)	女性のキャリア	(2)
転換の時代を生きる 3	(2)	地域と環境から見た未来	(2)
転換の時代を生きる 4	(2)	ボランティア活動が変える世界	(2)
数学の基礎	(2)	21世紀のオリンピックとパラリンピック	(2)

グローバル時代の対話と協調	(2)	学びの世界を広げる	(2)
21世紀の戦争と平和	(2)	文化の創造と継承	(2)
私たちが学びたいこと	(2)	プロジェクト演習	(1)

2023年度以降入学者

キリスト教Ⅰ	(2)	音楽Ⅱ A	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と諸宗教)	(2)	音楽Ⅰ B	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教の歴史Ⅰ)	(2)	音楽Ⅱ B	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教の歴史Ⅱ)	(2)	音楽実技 (声楽アンサンブル入門)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と倫理)	(2)	音楽実技 (ピアノ)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想Ⅰ)	(2)	音楽実技 (弦楽器)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想Ⅱ)	(2)	音楽実技 (管楽器)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想Ⅲ)	(2)	音楽実技 (声楽)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と社会)	(2)	音楽実技 (オルガン)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と法律)	(2)	音楽社会学	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と聖書Ⅰ)	(2)	美術芸術論	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と聖書Ⅱ)	(2)	舞台芸術入門	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と文学Ⅰ)	(2)	デザインと表現	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と文学Ⅱ)	(2)	色彩と表現	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と音楽)	(2)	ことばとデザイン	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と芸術)	(2)	メディア・デザイン	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教とことば)	(2)	ファッションデザイン論	(2)
キリスト教Ⅲ (キリスト教とボランティア)	(2)	コピーライティング演習	(2)
キリスト教Ⅳ (キリスト教とフェリス女学院)	(2)	生命科学と倫理A	(2)
哲学A	(2)	生命科学と倫理B	(2)
哲学B	(2)	マスコミュニケーションと思想	(2)
心理学	(2)	社会科学入門	(2)
青年心理	(2)	近現代史入門	(2)
ジェンダーと教育の歴史	(2)	社会経済史	(2)
ジェンダー特論	(2)	社会学	(2)
ジェンダーと人権	(2)	マスコミュニケーション論	(2)
ジェンダーから学ぶ現代社会	(2)	現代における法学入門	(2)
男性学	(2)	日本国憲法	(2)
グローバリゼーションとジェンダー	(2)	家族と法A	(2)
ジェンダーを考えるⅡ	(2)	家族と法B	(2)
男女共同参画政策	(2)	消費者と法A	(2)
地域社会と女性リーダー	(2)	消費者と法B	(2)
プロジェクトで学ぶⅠ	(2)	商法・会社法	(2)
プロジェクトで学ぶⅡ	(2)	経済学入門	(2)
子ども・教育・保育	(2)	マクロ経済学	(2)
文学 (日本文学) Ⅰ	(2)	ミクロ経済学	(2)
文学 (日本文学) Ⅱ	(2)	現代の経済問題	(2)
文学 (日本文学) Ⅲ	(2)	社会保障論	(2)
文学 (日本文学) Ⅳ	(2)	行政学A	(2)
文学 (外国文学) Ⅰ	(2)	行政学B	(2)
文学 (外国文学) Ⅱ	(2)	経営学入門A	(2)
文学 (外国文学) Ⅲ	(2)	経営学入門B	(2)
文学 (外国文学) Ⅳ	(2)	企業と倫理	(2)
音楽Ⅰ A	(2)	転換の時代を生きるⅠ	(2)

転換の時代を生きる 2	(2)	情報リテラシー：データサイエンス入門	(2)
転換の時代を生きる 3	(2)	キャリア形成の理解 1	(2)
ジェンダー&セクシュアリティ入門	(2)	キャリア形成の理解 2	(2)
数学の基礎	(2)	キャリア系の知識を深める 1	(2)
統計の基礎	(2)	キャリア系の知識を深める 2	(2)
数的思考の初歩	(2)	キャリア系の知識を深める 3	(2)
科学技術入門	(2)	社会人基礎力の修得と実践 1	(2)
環境学入門 1	(2)	女性とキャリア	(2)
環境学入門 2	(2)	実践マーケティング	(2)
情報科学：コンピュータと社会	(2)	キャリアデザインとウェルビーイング	(2)
情報科学：ソフトウェアとビジネス	(2)	キャリア実習（短期インターンシップ）	(1)
健康・スポーツ論	(2)	キャリア実習（長期インターンシップ）	(2)
スポーツ実習	(1)	未来の環境を展望する 1	(2)
読み書きのスキル（文学系）	(2)	未来の環境を展望する 2	(2)
読み書きのスキル（社会系）	(2)	未来の環境を展望する 3	(2)
聞く話すのスキル	(2)	未来の環境を展望する 4	(2)
アカデミック・ライティング入門	(2)	未来の環境を展望する 5	(2)
分析的・批判的思考 1	(2)	未来の環境を展望する 6	(2)
分析的・批判的思考 2	(2)	世界とつながる音楽の力	(2)
弁論と説得	(2)	フェリス女学院で学ぶということ	(2)
議論と意思決定	(2)	女性のキャリア	(2)
情報とメディアのリテラシー 1	(2)	地域と環境から見た未来	(2)
情報とメディアのリテラシー 2	(2)	ボランティア活動が変える世界	(2)
読書とメディア	(2)	21世紀のオリンピックとパラリンピック	(2)
今年の一冊	(2)	グローバル時代の対話と協調	(2)
ボランティア論	(2)	21世紀の戦争と平和	(2)
ボランティア活動 1	(2)	文化の創造と継承	(2)
ボランティア活動 2	(2)	私たちが学びたいこと	(2)
ボランティア活動 3	(2)	学びの世界を広げる	(2)
市民活動の役割と意義	(2)	プロジェクト演習	(1)
情報リテラシー：コンピュータサイエンス入門	(2)		

D 語学科目

英語 I s（読む・書く）	(1)	英語 Vi（プロジェクト）	(1)
英語 I s（聞く・話す）	(1)	英語 e（Academic Listening）	(1)
英語 II i（分析・理解）	(2)	英語 e（Academic Reading）	(1)
英語 II i（発信・表現）	(2)	英語 e（Academic Reading:Advanced）	(1)
英語 II i（プロジェクト）	(1)	英語 e（Business Communication）	(1)
英語 II s（読む・書く）	(1)	英語 e（Conversation Skills:Basic）	(1)
英語 II s（聞く・話す）	(1)	英語 e（Conversation Skills）	(1)
英語 III i（分析・理解）	(2)	英語 e（Conversation Skills:Advanced）	(1)
英語 III i（発信・表現）	(2)	英語 e（Creative Writing）	(1)
英語 III i（プロジェクト）	(1)	英語 e（Discussion and Debate）	(1)
英語 III s（読む・書く）	(1)	英語 e（EIKEN Grade 2 Preparation）	(1)
英語 III s（聞く・話す）	(1)	英語 e（EIKEN Grade Pre-1 Preparation）	(1)
英語 IV i（分析・理解）	(2)	英語 e（English through Movies）	(1)
英語 IV i（発信・表現）	(2)	英語 e（English through Music:Basic）	(1)
英語 IV i（プロジェクト）	(1)	英語 e（Extensive Reading）	(1)
英語 IV s（読む・書く）	(1)	英語 e（Grammar:Basic）	(1)
英語 IV s（聞く・話す）	(1)	英語 e（IELTS Preparation I）	(1)

英語e (IELTS Preparation II)	(1)	フランス語VIi (読む)	(1)
英語e (News and Views)	(1)	フランス語VIi (話す)	(1)
英語e (News and Views:Advanced)	(1)	フランス語VIi (書く)	(1)
英語e (Pronunciation:Basic)	(1)	フランス語VIi (L L)	(1)
英語e (Pronunciation)	(1)	フランス語VIi (総合)	(1)
英語e (Songs & Poems)	(1)	海外語学実習 (フランス語)	(2)
英語e (Special Topic)	(1)	ドイツ語 I (入門)	(1)
英語e (Speech and Debate)	(1)	ドイツ語 II i (文法)	(3)
英語e (TOEFL-iBT Preparation I)	(1)	ドイツ語 II i (読む 1)	(1)
英語e (TOEFL-iBT Preparation II:		ドイツ語 II i (読む 2)	(1)
Listening/Speaking)	(1)	ドイツ語 II i (L L)	(1)
英語e (TOEFL-iBT Preparation II:		ドイツ語 II s (文法)	(1)
Reading/Writing)	(1)	ドイツ語 II s (読む)	(1)
英語e (TOEFL-iBT Preparation III)	(1)	ドイツ語 II s (L L)	(1)
英語e (TOEIC Preparation I)	(1)	ドイツ語 III i (文法)	(2)
英語e (TOEIC Preparation II :Listening)	(1)	ドイツ語 III i (読む)	(1)
英語e (TOEIC Preparation II :Reading)	(1)	ドイツ語 III i (話す)	(1)
英語e (TOEIC Preparation III)	(1)	ドイツ語 III i (書く)	(1)
英語e (Vocabulary:Basic)	(1)	ドイツ語 III i (L L)	(1)
英語e (Vocabulary)	(1)	ドイツ語 III s (文法)	(1)
英語e (Writing Skills)	(1)	ドイツ語 III s (読む)	(1)
フランス語 I (入門)	(1)	ドイツ語 III s (話す)	(1)
フランス語 II i (文法)	(3)	ドイツ語 III s (L L)	(1)
フランス語 II i (読む 1)	(1)	ドイツ語 IV i (読む 1)	(1)
フランス語 II i (読む 2)	(1)	ドイツ語 IV i (読む 2)	(1)
フランス語 II i (L L)	(1)	ドイツ語 IV i (話す)	(1)
フランス語 II s (文法)	(1)	ドイツ語 IV i (書く)	(1)
フランス語 II s (読む)	(1)	ドイツ語 IV i (L L)	(1)
フランス語 II s (L L)	(1)	ドイツ語 IV s (読む)	(1)
フランス語 III i (文法)	(2)	ドイツ語 IV s (話す)	(1)
フランス語 III i (読む)	(1)	ドイツ語 IV s (L L)	(1)
フランス語 III i (話す)	(1)	ドイツ語 V i (読む)	(1)
フランス語 III i (書く)	(1)	ドイツ語 V i (話す)	(1)
フランス語 III i (L L)	(1)	ドイツ語 V i (書く)	(1)
フランス語 III s (文法)	(1)	ドイツ語 V i (L L)	(1)
フランス語 III s (読む)	(1)	ドイツ語 V i (総合)	(1)
フランス語 III s (話す)	(1)	ドイツ語 VI i (読む)	(1)
フランス語 III s (L L)	(1)	ドイツ語 VI i (話す)	(1)
フランス語 IV i (読む 1)	(1)	ドイツ語 VI i (書く)	(1)
フランス語 IV i (読む 2)	(1)	ドイツ語 VI i (L L)	(1)
フランス語 IV i (話す)	(1)	ドイツ語 VI i (総合)	(1)
フランス語 IV i (書く)	(1)	海外語学実習 (ドイツ語)	(2)
フランス語 IV i (L L)	(1)	スペイン語 I (入門)	(1)
フランス語 IV s (読む)	(1)	スペイン語 II i (文法)	(3)
フランス語 IV s (話す)	(1)	スペイン語 II i (読む 1)	(1)
フランス語 IV s (L L)	(1)	スペイン語 II i (読む 2)	(1)
フランス語 V i (読む)	(1)	スペイン語 II i (L L)	(1)
フランス語 V i (話す)	(1)	スペイン語 II s (文法)	(1)
フランス語 V i (書く)	(1)	スペイン語 II s (読む)	(1)
フランス語 V i (L L)	(1)	スペイン語 II s (L L)	(1)
フランス語 V i (総合)	(1)	スペイン語 III i (文法)	(2)

スペイン語Ⅲi (読む)	(1)	中国語Ⅳs (L L)	(1)
スペイン語Ⅲi (話す)	(1)	中国語Ⅴi (読む)	(1)
スペイン語Ⅲi (書く)	(1)	中国語Ⅴi (話す)	(1)
スペイン語Ⅲi (L L)	(1)	中国語Ⅴi (書く)	(1)
スペイン語Ⅲs (文法)	(1)	中国語Ⅴi (L L)	(1)
スペイン語Ⅲs (読む)	(1)	中国語Ⅴi (総合)	(1)
スペイン語Ⅲs (話す)	(1)	中国語Ⅵi (読む)	(1)
スペイン語Ⅲs (L L)	(1)	中国語Ⅵi (話す)	(1)
スペイン語Ⅳi (読む1)	(1)	中国語Ⅵi (書く)	(1)
スペイン語Ⅳi (読む2)	(1)	中国語Ⅵi (L L)	(1)
スペイン語Ⅳi (話す)	(1)	中国語Ⅵi (総合)	(1)
スペイン語Ⅳi (書く)	(1)	海外語学実習 (中国語)	(2)
スペイン語Ⅳi (L L)	(1)	朝鮮語Ⅰ (入門)	(1)
スペイン語Ⅳs (読む)	(1)	朝鮮語Ⅱi (文法)	(3)
スペイン語Ⅳs (話す)	(1)	朝鮮語Ⅱi (読む1)	(1)
スペイン語Ⅳs (L L)	(1)	朝鮮語Ⅱi (読む2)	(1)
スペイン語Ⅴi (読む)	(1)	朝鮮語Ⅱi (L L)	(1)
スペイン語Ⅴi (話す)	(1)	朝鮮語Ⅱs (文法)	(1)
スペイン語Ⅴi (書く)	(1)	朝鮮語Ⅱs (読む)	(1)
スペイン語Ⅴi (L L)	(1)	朝鮮語Ⅱs (L L)	(1)
スペイン語Ⅴi (総合)	(1)	朝鮮語Ⅲi (文法)	(2)
スペイン語Ⅵi (読む)	(1)	朝鮮語Ⅲi (読む)	(1)
スペイン語Ⅵi (話す)	(1)	朝鮮語Ⅲi (話す)	(1)
スペイン語Ⅵi (書く)	(1)	朝鮮語Ⅲi (書く)	(1)
スペイン語Ⅵi (L L)	(1)	朝鮮語Ⅲi (L L)	(1)
スペイン語Ⅵi (総合)	(1)	朝鮮語Ⅲs (文法)	(1)
海外語学実習 (スペイン語)	(2)	朝鮮語Ⅲs (読む)	(1)
中国語Ⅰ (入門)	(1)	朝鮮語Ⅲs (話す)	(1)
中国語Ⅱi (文法)	(3)	朝鮮語Ⅲs (L L)	(1)
中国語Ⅱi (読む1)	(1)	朝鮮語Ⅳi (読む1)	(1)
中国語Ⅱi (読む2)	(1)	朝鮮語Ⅳi (読む2)	(1)
中国語Ⅱi (L L)	(1)	朝鮮語Ⅳi (話す)	(1)
中国語Ⅱs (文法)	(1)	朝鮮語Ⅳi (書く)	(1)
中国語Ⅱs (読む)	(1)	朝鮮語Ⅳi (L L)	(1)
中国語Ⅱs (L L)	(1)	朝鮮語Ⅳs (読む)	(1)
中国語Ⅲi (文法)	(2)	朝鮮語Ⅳs (話す)	(1)
中国語Ⅲi (読む)	(1)	朝鮮語Ⅳs (L L)	(1)
中国語Ⅲi (話す)	(1)	朝鮮語Ⅴi (読む)	(1)
中国語Ⅲi (書く)	(1)	朝鮮語Ⅴi (話す)	(1)
中国語Ⅲi (L L)	(1)	朝鮮語Ⅴi (書く)	(1)
中国語Ⅲs (文法)	(1)	朝鮮語Ⅴi (L L)	(1)
中国語Ⅲs (読む)	(1)	朝鮮語Ⅴi (総合)	(1)
中国語Ⅲs (話す)	(1)	朝鮮語Ⅵi (読む)	(1)
中国語Ⅲs (L L)	(1)	朝鮮語Ⅵi (話す)	(1)
中国語Ⅳi (読む1)	(1)	朝鮮語Ⅵi (書く)	(1)
中国語Ⅳi (読む2)	(1)	朝鮮語Ⅵi (L L)	(1)
中国語Ⅳi (話す)	(1)	朝鮮語Ⅵi (総合)	(1)
中国語Ⅳi (書く)	(1)	海外語学実習 (朝鮮語)	(2)
中国語Ⅳi (L L)	(1)	古典ギリシア語Ⅰ (文法)	(1)
中国語Ⅳs (読む)	(1)	古典ギリシア語Ⅱ (文法)	(1)
中国語Ⅳs (話す)	(1)	古典ギリシア語Ⅲ (読む)	(1)

古典ギリシア語Ⅳ（読む）	(1)	イタリア語Ⅱ（読む）	(1)
ラテン語Ⅰ（文法）	(1)	イタリア語Ⅲ（文法）	(1)
ラテン語Ⅱ（文法）	(1)	イタリア語Ⅲ（読む）	(1)
ラテン語Ⅲ（読む）	(1)	イタリア語Ⅳ（読む）	(1)
ラテン語Ⅳ（読む）	(1)	イタリア語Ⅳ（話す）	(1)
イタリア語Ⅰ（基礎）	(1)	日本語Ⅰ	(1)
イタリア語Ⅱ（文法）	(1)	日本語Ⅱ	(1)

別表第2（第3条関係）

専門科目

（ ）内は単位数

A 文学部英語英米文学科

R & R（入門ゼミ）	(1)	イギリスの文化	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	現代イギリス論	(2)
イギリス研究入門1	(2)	アメリカ史	(2)
イギリス研究入門2	(2)	アメリカ社会史	(2)
イギリス研究入門3	(2)	アメリカの政治	(2)
イギリス研究入門4	(2)	アメリカの外交	(2)
イギリス研究入門5	(2)	アメリカの思想と宗教	(2)
アメリカ研究入門1	(2)	アメリカの文化1	(2)
アメリカ研究入門2	(2)	アメリカの文化2	(2)
アメリカ研究入門3	(2)	現代アメリカ論1	(2)
アメリカ研究入門4	(2)	現代アメリカ論2	(2)
英語学研究入門	(2)	カナダの社会	(2)
英語学研究入門2	(2)	オーストラリアの社会と文化1	(2)
英米文化専門講読1	(2)	オーストラリアの社会と文化2	(2)
英米文化専門講読2	(2)	イギリス文学史	(2)
英米文化専門講読3	(2)	イギリス詩1	(2)
英米文化専門講読4	(2)	イギリス詩2	(2)
英米文化専門講読5	(2)	イギリス詩3	(2)
英米文化専門講読6	(2)	イギリス演劇1	(2)
英米文化専門講読7	(2)	イギリス演劇2	(2)
英米文化専門講読8	(2)	イギリス演劇3	(2)
英米文化専門講読9	(2)	イギリス小説1	(2)
英米文化専門講読10	(2)	イギリス小説2	(2)
英米文化専門講読11	(2)	イギリス小説3	(2)
Academic Writing	(2)	イギリス伝承文学1	(2)
Global Issues 1	(2)	イギリス伝承文学2	(2)
Global Issues 2	(2)	イギリス伝承文学3	(2)
Business Communication	(2)	イギリス伝承文学4	(2)
Literature and Culture 1	(2)	イギリス文化史	(2)
Literature and Culture 2	(2)	イギリスの芸術	(2)
English for Children 1	(2)	アメリカ文学史	(2)
English for Children 2	(2)	アメリカ詩	(2)
英米文化発展ゼミ	(2)	アメリカ演劇	(2)
イギリス史1	(2)	アメリカ小説1	(2)
イギリス史2	(2)	アメリカ小説2	(2)
イギリス史	(2)	アメリカ小説3	(2)
イギリスの政治と社会1	(2)	キリスト教と英米文学1	(2)
イギリスの政治と社会2	(2)	キリスト教と英米文学2	(2)
イギリスの思想と宗教	(2)	英米文化特論1	(2)

英米文化特論 2	(2)	同時通訳技法 1	(2)
英米文化特論 3	(2)	同時通訳技法 2	(2)
英米文化特論 4	(2)	Focus on Listening and Reading	(2)
英米文化特論 5	(2)	Writing Workshop	(2)
英米文化特論 6	(2)	Academic Skills	(2)
英米芸術史	(2)	Academic Skills 1	(2)
英語圏の映画と映像	(2)	Academic Skills 2	(2)
英語圏の映画と映像 2	(2)	Academic Skills 3	(2)
英語圏の映画と映像 3	(2)	Academic Skills 4	(2)
英語圏の映画と映像 4	(2)	Academic Skills 5	(2)
英語の歴史	(2)	Academic Skills 6	(2)
英語学	(2)	Academic Skills 7	(2)
第二言語習得論から見る英語学習	(2)	英語集中セミナー 1	(1)
英語のナラティブ分析	(2)	英語集中セミナー 2	(1)
英語と社会・文化	(2)	英米文化専門ゼミ A	(1)
英語と社会・文化 2	(2)	英米文化専門ゼミ B	(1)
日英語の発想と表現	(2)	英米文化卒論ゼミ A	(1)
Thought and Expression in English	(2)	英米文化卒論ゼミ B	(1)
英語学特論 1	(2)	卒業論文	(6)
英語学特論 2	(2)	Summer Abroad (UK)	(2)
英語学特論 3	(2)	Summer Abroad (US)	(2)
Pronunciation Clinic	(2)	Spring Abroad	(2)
翻訳技法	(2)	Field Study 1	(1)
通訳技法	(2)	Field Study 2	(1)

B 文学部日本語日本文学科

R & R (入門ゼミ)	(1)	日本語日本文学プレ専門ゼミ 3	(2)
日本語日本文学基礎ゼミ	(1)	日本語日本文学プレ専門ゼミ 4	(2)
日本語学概論 A	(2)	日本語日本文学プレ専門ゼミ 5	(2)
日本語学概論 B	(2)	日本語日本文学プレ専門ゼミ 6	(2)
日本語の歴史 A	(2)	日本語日本文学プレ専門ゼミ 7	(2)
日本語の歴史 B	(2)	日本語日本文学プレ専門ゼミ 8	(2)
日本語教育学概論 A	(2)	日本語日本文学プレ専門ゼミ 9	(2)
日本語教育学概論 B	(2)	日本語文法研究の方法	(2)
日本古典文学史 (古代)	(2)	日本語語彙研究の方法	(2)
日本古典文学史 (中近世)	(2)	日本語音声研究の方法	(2)
日本近代文学史 A	(2)	方言研究の方法	(2)
日本近代文学史 B	(2)	日本語教育研究の方法	(2)
漢文学概説 A	(2)	上代文学研究の方法	(2)
漢文学概説 B	(2)	中古文学研究の方法	(2)
言語学概説	(2)	中世文学研究の方法	(2)
基礎論文演習 (文章表現)	(1)	近世文学研究の方法	(2)
書誌学・くずし字の基礎	(2)	近現代文学研究の方法	(2)
古典読解の基礎	(2)	漢文学研究の方法	(2)
漢文読解の基礎	(2)	日本語の形態と構文	(2)
文学理論の基礎	(2)	日本語の意味と語彙	(2)
日本史の基礎 (古代～近世)	(2)	日本語の音声とアクセント	(2)
日本史の基礎 (近現代)	(2)	日本語の文体と語法	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 1	(2)	日本の漢字と国語辞書	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 2	(2)	日本語の敬語	(2)

方言と社会言語学	(2)	浄瑠璃の世界	(2)
日本語自然言語処理入門	(2)	寄席芸能の世界	(2)
日本語教育文法	(2)	少女歌劇の世界	(2)
日本語学習のコースデザイン	(2)	近現代演劇の世界	(2)
日本語教育の教材分析	(2)	漢字の世界	(2)
日本語教授法A	(2)	漢詩漢文の世界	(2)
日本語教授法B	(2)	日中比較言語・文学の世界	(2)
音声教育法	(2)	書道芸術の世界	(2)
日本語教育のための異文化理解	(2)	近代日本語の世界	(2)
第二言語習得論	(2)	書道	(1)
地域日本語教育実習	(2)	文字と文学	(2)
年少者日本語教育実習	(2)	文学と子ども	(2)
日本語教育実習 1	(1)	地域文化を読み解く	(2)
日本語教育実習 2	(2)	民俗文化を読み解く	(2)
神話の世界	(2)	絵巻・絵図を読み解く	(2)
古代和歌の世界	(2)	映画・映像を読み解く	(2)
物語の世界	(2)	マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)
日記の世界	(2)	日本伝統文化を学ぶ	(2)
随筆の世界	(2)	小説創作を学ぶ	(2)
軍記の世界	(2)	現代詩創作を学ぶ	(2)
説話の世界	(2)	短歌・俳句創作を学ぶ	(2)
中世和歌の世界	(2)	報道文を学ぶ	(2)
近世小説の世界	(2)	編集を学ぶ	(2)
俳諧の世界	(2)	朗読・アナウンスを学ぶ	(2)
近代小説の世界	(2)	世界の中の日本文学を学ぶ	(2)
現代小説の世界	(2)	日本語日本文学専門ゼミ A	(1)
近現代詩歌の世界	(2)	日本語日本文学専門ゼミ B	(1)
同時代文学の世界	(2)	日本語日本文学卒論ゼミ A	(1)
能・狂言の世界	(2)	日本語日本文学卒論ゼミ B	(1)
歌舞伎の世界	(2)	卒業論文	(6)

C 文学部コミュニケーション学科

R&R(入門ゼミ)	(1)	コミュニケーション学探求2	(2)
コミュニケーション基礎ゼミ	(1)	コミュニケーション学探求3	(2)
言語コミュニケーション概論	(2)	コミュニケーション学探求4	(2)
社会コミュニケーション概論	(2)	コミュニケーション学探求5	(2)
文化コミュニケーション概論	(2)	コミュニケーション学探求6	(2)
心理コミュニケーション概論	(2)	コミュニケーション学探求7	(2)
コミュニケーション概論A	(2)	コミュニケーション学探求8	(2)
コミュニケーション概論B	(2)	コミュニケーション学探求10	(2)
コミュニケーション研究方法の全体像	(2)	コミュニケーション学探求11	(2)
心理学実験演習	(4)	対人コミュニケーションの心理学	(2)
社会・心理調査の方法	(2)	ことばと記号のコミュニケーション	(2)
インタビュー・面接のスキル	(2)	言語行動学	(2)
話しことばを分析する	(2)	社会的行為としてのコミュニケーション	(2)
文献・情報の集め方	(2)	マスコミュニケーションと情報社会	(2)
データを数量から読み解く	(2)	政治コミュニケーション概説	(2)
フィールドワークとエスノグラフィー	(2)	組織の中の人間関係と心理	(2)
フィールドワークとライフヒストリー分析を学ぶ	(2)	身体としぐさの心理学	(2)
テキストの批判的解釈のための方法	(2)	英語学研究入門	(2)
コミュニケーション学探求1	(2)	日本語学概論A	(2)

日本語学概論B	(2)	メディアリテラシーを身につける	(2)
日本語の歴史A	(2)	放送文化と制度を考える	(2)
日本語の歴史B	(2)	新聞・出版ワークショップ	(2)
日本語の文体と語法	(2)	マルチメディアの現在と未来	(2)
日本語の形態と構文	(2)	物語論	(2)
日本語文法論とコミュニケーション	(2)	絵画分析	(2)
日本語音声とコミュニケーション	(2)	物語の力を分析する	(2)
歴史言語コミュニケーション概説	(2)	ゲームの魅力を分析する	(2)
多文化・多言語社会を考える	(2)	日本語の意味と語彙	(2)
クレオール文化の考え方・読み方	(2)	日本語の敬語	(2)
先住民族の言語・文化と共生	(2)	ネットワークによるコミュニケーションの構築	(2)
コミック『ゴールデンカムイ』で学ぶ多文化共生	(2)	行動科学のためのデータ解析 (SPSSによる統計・解析)	(2)
ことばと個人・社会の因果関係を探る	(2)	コンピュータによる調査データの解析A	(2)
コンピュータによる日本語自然言語処理の基礎	(2)	コンピュータによる調査データの解析B	(2)
英語学特論1	(2)	Excelによるデータ分析 (バイズ推定による予測)	(2)
異文化のコミュニケーション	(2)	PythonとC#による日本語自然言語処理プログラミング	(2)
異文化コミュニケーションの理論と実践	(2)	原因と結果のデータ分析 (AMOSによる共分散構造分析)	(2)
文化の心理学	(2)	文献・情報にアクセスする	(2)
これからの多文化教育	(2)	映像取材A	(2)
アジアとの出会いと異文化体験	(2)	映像取材B	(2)
多文化社会の人間学	(2)	マルチメディア制作 I (CG・DTP編集)	(2)
多文化体験としての都市フィールドワーク	(2)	マルチメディア分析	(2)
異文化トレーニング	(2)	テキスト分析 (Web上データの潜在意味分析)	(2)
ディアスポラ (離散) の思想	(2)	マルチメディア制作 II (情報デザイン) A	(2)
ことばのフィールドワーク	(2)	マルチメディア制作 II (情報デザイン) B	(2)
エスニックマイノリティの問題を考えるA	(2)	プレゼンテーションの方法A	(2)
エスニックマイノリティの問題を考えるB	(2)	プレゼンテーションの方法B	(2)
共生社会論	(2)	取材と記事のレッスン	(2)
舞踊の文化人類学	(2)	編集デザインスキル	(2)
グローバル化する人の移動の社会学	(2)	編集的思考入門	(2)
子どもの発達とこれからの教育問題	(2)	ディベートと自己主張	(2)
これからの家族問題A	(2)	ビジネス・コミュニケーションスキル	(2)
これからの家族問題B	(2)	コミュニケーションスキルトレーニングの技法	(2)
健康・医療におけるコミュニケーションの心理と諸問題	(2)	身体表現論	(2)
H I V・難病問題と向き合う	(2)	ファッション文化	(2)
P T S Dと被害者の心理・グリーフワーク	(2)	スポーツ文化	(2)
ジェンダー問題と男女共同参画社会	(2)	現代人と宗教	(2)
障害者の心理学と共生社会	(2)	映画・映像文化	(2)
エイジングの心理学と高齢社会	(2)	広告とマーケティング	(2)
「日本におけるアジア」とのネットワーキング	(2)	英語と社会・文化	(2)
ファシリテーターの理論と実践A	(2)	英語と社会・文化2	(2)
ファシリテーターの理論と実践B	(2)	コミュニケーション専門ゼミ I A	(1)
視覚障害の理解と点字の技法A	(2)	コミュニケーション専門ゼミ I B	(1)
視覚障害の理解と点字の技法B	(2)	コミュニケーション専門ゼミ II A	(1)
聴覚障害の理解と手話の技法A	(2)	コミュニケーション専門ゼミ II B	(1)
聴覚障害の理解と手話の技法B	(2)	卒業論文・卒業制作	(6)
共生のフィールドワーク	(4)		

D 音楽学部音楽芸術学科
2018年度以前入学者

音楽の基礎知識	(2)	現代音楽レパートリー	(2)
音楽基礎理論	(2)	音楽とプログラミング	(2)
合唱ⅠA	(1)	デザイン思考とアート思考	(2)
合唱ⅠB	(1)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
基礎声楽A	(1)	アート・マネージメント	(2)
基礎声楽B	(1)	音楽とデザイン	(2)
基礎ピアノA	(1)	音楽ビジネス	(2)
基礎ピアノB	(1)	ステージパフォーマンス・ワークショップ	(2)
和声A	(2)	身体表現ワークショップ1	(2)
和声B	(2)	身体表現ワークショップ2	(2)
ソルフェージュA	(1)	番組制作ワークショップ	(2)
ソルフェージュB	(1)	音響機器ワークショップ	(2)
賛美歌学	(2)	録音実技ワークショップ	(2)
キリスト教音楽概論	(2)	アナウンス・朗読	(2)
賛美歌を作ろう	(2)	声の仕事	(2)
キリスト教音楽実践A	(2)	ミュージカルレパートリー・ワークショップ	(2)
キリスト教音楽実践B	(2)	作曲を楽しもうA	(2)
キリスト教音楽研究A	(2)	作曲を楽しもうB	(2)
キリスト教音楽研究B	(2)	ポップスアレンジ	(2)
コード理論A	(2)	バンドを楽しもう	(2)
コード理論B	(2)	アンサンブルを楽しもう	(2)
伴奏法A	(1)	ソングライティング	(2)
伴奏法B	(1)	コーラスリーダー・ワークショップ	(2)
旋律学	(2)	音楽起業ワークショップ	(2)
共演芸術1A	(2)	英語で音楽ビジネス	(2)
共演芸術1B	(2)	合奏	(1)
共演芸術2A	(2)	音楽と身体表現	(2)
共演芸術2B	(2)	音楽と脳科学	(2)
即興演奏ワークショップ	(2)	指揮法	(2)
演奏表現ワークショップ(クラシック)	(2)	音楽ジャーナリズム	(2)
ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)	医療と音楽	(2)
合唱ⅡA	(1)	心と音楽	(2)
合唱ⅡB	(1)	音楽療法1	(2)
合唱ⅢA	(1)	音楽療法2	(2)
合唱ⅢB	(1)	基礎演習	(1)
身体の科学	(2)	応用演習	(1)
英語で音楽理論	(2)	専門ゼミⅠ	(1)
ポピュラー音楽理論	(2)	専門ゼミⅡ	(1)
邦楽1	(1)	専門ゼミⅢ	(1)
邦楽2	(1)	専門ゼミⅣ	(1)
編曲のテクニック	(2)	学外公开发表Ⅰ	(1)
西洋音楽通史	(4)	学外公开发表Ⅱ	(1)
日本音楽通史	(4)	公开发表・公開演奏	(1)
諸民族の音楽	(2)	海外音楽研修	(2)
吹奏楽概論	(2)	卒業プロジェクト	(6)
世界のポピュラー音楽	(2)	PA教職実技(声楽)	(1)
音楽スペシャル講義	(2)	PA教職実技(ピアノ)	(1)
ポピュラー音楽史	(2)	PA教職実技(伴奏・即興演奏)	(1)
公開講座・コンサート鑑賞	(2)	PA教職実技(聴音・音楽理論)	(1)

PA教職実技（初見視唱・初見視奏）	(1)	PA Moving Images, Movies	(1)
PAミュージカル	(1)	PA Internet of Things	(1)
PAキリスト教音楽	(1)	PA AI Technology and Music	(1)
PAピアノデュオ	(1)	PA Digital Technology Marketing	(1)
PAフルートアンサンブル	(1)	PA 副科個人実技	(2)
PAアンサンブル管弦楽	(2)	PA グループ実技（バレエ1）	(1)
PA室内楽	(1)	PA グループ実技（バレエ2）	(2)
PA声楽アンサンブル（スタンダード）	(1)	PA グループ実技（バレエ3）	(3)
PA声楽アンサンブル（アドバンスト）	(1)	PA グループ実技（ダンス1）	(1)
PAオペラ	(1)	PA グループ実技（ダンス2）	(2)
PA Digital Fabrication Lab.	(1)	PA グループ実技（ダンス3）	(3)
PA Media Art	(1)		

2019年度以降入学者

音楽の基礎知識	(2)	合奏	(1)
音楽基礎理論	(2)	演奏表現ワークショップ（クラシック）	(2)
合唱ⅠA	(1)	西洋音楽通史	(4)
合唱ⅠB	(1)	日本音楽通史	(4)
基礎声楽A	(1)	公開講座・コンサート鑑賞	(2)
基礎声楽B	(1)	諸民族の音楽	(2)
基礎ピアノA	(1)	吹奏楽概論	(2)
基礎ピアノB	(1)	世界のポピュラー音楽	(2)
和声A	(2)	音楽スペシャル講義	(2)
和声B	(2)	ポピュラー音楽史	(2)
ソルフェージュA	(1)	映画舞台音楽論1	(2)
ソルフェージュB	(1)	映画舞台音楽論2	(2)
コンピュータ音楽制作	(2)	音響の心理	(2)
音響の基礎	(2)	デザイン思考とアート思考	(2)
映像制作基礎	(2)	音楽とプログラミング	(2)
J-POP 音楽論	(2)	音楽ジャーナリズム	(2)
賛美歌学	(2)	医療と音楽	(2)
賛美歌を作ろう	(2)	心と音楽	(2)
キリスト教音楽研究A	(2)	音楽療法1	(2)
キリスト教音楽研究B	(2)	音楽療法2	(2)
キリスト教音楽概論	(2)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
キリスト教音楽実践A	(2)	アート・マネジメント	(2)
キリスト教音楽実践B	(2)	音楽とデザイン	(2)
コード理論A	(2)	音楽ビジネス	(2)
コード理論B	(2)	ミュージックビデオ制作	(2)
伴奏法A	(1)	ステージパフォーマンス・ワークショップ	(2)
伴奏法B	(1)	映像制作応用	(2)
合唱ⅡA	(1)	音響機器ワークショップ	(2)
合唱ⅡB	(1)	録音実技ワークショップ	(2)
身体科学	(2)	アナウンス・朗読	(2)
英語で音楽理論	(2)	声の仕事	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	ミュージカルレパートリー・ワークショップ	(2)
邦楽1	(1)	ポップスアレンジ	(2)
邦楽2	(1)	バンドを楽しもう	(2)
楽曲分析	(2)	音楽と身体表現	(2)
旋律学	(2)	音楽と脳科学	(2)

共演芸術 1 A	(2)	P A 声楽アンサンブル (アドバンスト)	(1)
共演芸術 1 B	(2)	P A オペラ	(1)
共演芸術 2 A	(2)	P A Digital Fabrication Lab.	(1)
共演芸術 2 B	(2)	P A Media Art	(1)
ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)	P A Moving Images, Movies	(1)
ソングライティング	(2)	P A Internet of Things	(1)
コーラスリーダー・ワークショップ	(2)	P A AI Technology and Music	(1)
音楽起業ワークショップ	(2)	P A Digital Technology Marketing	(1)
英語で音楽ビジネス	(2)	P A 個人実技 15 (声楽)	(1)
指揮法	(2)	P A 個人実技 15 (ヴォイストレーニング)	(1)
合唱Ⅲ A	(1)	P A 個人実技 15 (伴奏法)	(1)
合唱Ⅲ B	(1)	P A 個人実技 15 (器楽)	(1)
ピアノ指導ワークショップ	(2)	P A 個人実技 15 (室内楽)	(1)
リトミック指導ワークショップ	(2)	P A 個人実技 15 (作編曲)	(1)
SNS とマーケティング	(2)	P A 個人実技 15 (邦楽)	(1)
基礎演習	(1)	P A 個人実技 15 (その他)	(1)
応用演習	(1)	P A 個人実技 30 (声楽)	(2)
公開発表・公開演奏	(1)	P A 個人実技 30 (ヴォイストレーニング)	(2)
専門ゼミ I	(1)	P A 個人実技 30 (伴奏法)	(2)
専門ゼミ II	(1)	P A 個人実技 30 (器楽)	(2)
専門ゼミⅢ	(1)	P A 個人実技 30 (室内楽)	(2)
専門ゼミⅣ	(1)	P A 個人実技 30 (作編曲)	(2)
卒業プロジェクト	(6)	P A 個人実技 30 (邦楽)	(2)
P A 教職実技 (声楽)	(1)	P A 個人実技 30 (その他)	(2)
P A 教職実技 (ピアノ)	(1)	P A 個人実技 45 (声楽)	(3)
P A 教職実技 (伴奏・即興演奏)	(1)	P A 個人実技 45 (ヴォイストレーニング)	(3)
P A 教職実技 (聴音・音楽理論)	(1)	P A 個人実技 45 (伴奏法)	(3)
P A 教職実技 (初見視唱・初見視奏)	(1)	P A 個人実技 45 (器楽)	(3)
P A キリスト教音楽	(1)	P A 個人実技 45 (室内楽)	(3)
P A ピアノデュオ	(1)	P A 個人実技 45 (作編曲)	(3)
P A アンサンブル弦楽	(1)	P A 個人実技 45 (邦楽)	(3)
P A フルートアンサンブル	(1)	P A 個人実技 45 (その他)	(3)
P A アンサンブル管楽	(1)	P A グループ実技 (バレエ 1)	(1)
P A アンサンブル管弦楽	(2)	P A グループ実技 (バレエ 2)	(2)
P A 室内楽	(1)	P A グループ実技 (バレエ 3)	(3)
P A ミュージカル	(1)	P A グループ実技 (ダンス 1)	(1)
P A キーボード・インプロヴィゼーション	(1)	P A グループ実技 (ダンス 2)	(2)
P A 声楽アンサンブル (スタンダード)	(1)	P A グループ実技 (ダンス 3)	(3)

E 音楽学部演奏学科

2018年度以前入学者

専攻実技 (声楽) I A	(3)	専攻実技 (鍵盤楽器) I A	(3)
専攻実技 (声楽) I B	(3)	専攻実技 (鍵盤楽器) I B	(3)
専攻実技 (声楽) II A	(3)	専攻実技 (鍵盤楽器) II A	(3)
専攻実技 (声楽) II B	(3)	専攻実技 (鍵盤楽器) II B	(3)
専攻実技 (声楽) III A	(3)	専攻実技 (鍵盤楽器) III A	(3)
専攻実技 (声楽) III B	(3)	専攻実技 (鍵盤楽器) III B	(3)
専攻実技 (声楽) IV A	(3)	専攻実技 (鍵盤楽器) IV A	(3)
専攻実技 (声楽) IV B	(3)	専攻実技 (鍵盤楽器) IV B	(3)

専攻実技 (弦楽器) I A	(3)	声楽レパートリー 1 A	(1)
専攻実技 (弦楽器) I B	(3)	声楽レパートリー 1 B	(1)
専攻実技 (弦楽器) II A	(3)	声楽レパートリー 2 A	(1)
専攻実技 (弦楽器) II B	(3)	声楽レパートリー 2 B	(1)
専攻実技 (弦楽器) III A	(3)	オペラ	(1)
専攻実技 (弦楽器) III B	(3)	オラトリオ演習 A	(1)
専攻実技 (弦楽器) IV A	(3)	オラトリオ演習 B	(1)
専攻実技 (弦楽器) IV B	(3)	キリスト教音楽	(1)
専攻実技 (管楽器) I A	(3)	演奏アドヴァンスト I A	(2)
専攻実技 (管楽器) I B	(3)	演奏アドヴァンスト I B	(2)
専攻実技 (管楽器) II A	(3)	演奏アドヴァンスト II A	(2)
専攻実技 (管楽器) II B	(3)	演奏アドヴァンスト II B	(2)
専攻実技 (管楽器) III A	(3)	客員教授特別講義	(2)
専攻実技 (管楽器) III B	(3)	西洋音楽通史	(4)
専攻実技 (管楽器) IV A	(3)	日本音楽通史	(4)
専攻実技 (管楽器) IV B	(3)	国内音楽研修	(1)
導入セミナー	(1)	海外音楽研修	(2)
和声 A	(2)	諸民族の音楽	(2)
和声 B	(2)	キリスト教音楽概論	(2)
合唱 I A	(1)	楽曲分析	(2)
合唱 I B	(1)	共演芸術 1 A	(2)
合唱 II A	(1)	共演芸術 1 B	(2)
合唱 II B	(1)	共演芸術 2 A	(2)
ソルフェージュ A	(1)	共演芸術 2 B	(2)
ソルフェージュ B	(1)	キリスト教音楽研究 A	(2)
演奏のためのからだづくり A	(1)	キリスト教音楽研究 B	(2)
演奏のためのからだづくり B	(1)	現代音楽レパートリー	(2)
2 年次修了公開演奏	(2)	アーティストのための身体表現 A	(2)
卒業公開演奏	(4)	アーティストのための身体表現 B	(2)
室内楽のタベ	(2)	演奏スペシャル講義 1 A	(2)
オーケストラ協演のタベ	(3)	演奏スペシャル講義 1 B	(2)
学内公開演奏	(1)	演奏スペシャル講義 2 A	(2)
学外公開演奏	(1)	演奏スペシャル講義 2 B	(2)
演奏ボランティア	(1)	副科ピアノクラス A	(1)
フェリス・レーズ・オン・ステージ [スタンダード]	(2)	副科ピアノクラス B	(1)
フェリス・レーズ・オン・ステージ [アドヴァンスト]	(3)	副科声楽クラス A	(1)
ピアノデュオ	(1)	副科声楽クラス B	(1)
フルートアンサンブル	(1)	伴奏法 A	(1)
アンサンブル管弦楽	(2)	伴奏法 B	(1)
合唱 III A	(1)	ピアノ指導ワークショップ	(2)
合唱 III B	(1)	幼児リトミック指導ワークショップ A	(2)
室内楽	(1)	幼児リトミック指導ワークショップ B	(2)
声楽アンサンブル (スタンダード)	(1)	リトミック指導ワークショップ	(2)
声楽アンサンブル (アドヴァンスト)	(1)	コーラスリーダー・ワークショップ	(2)
バロックアンサンブル A	(1)	指揮法	(2)
バロックアンサンブル B	(1)	作・編曲法	(2)
伴奏実習	(1)	編曲のテクニック	(2)
ピアノレパートリー A	(1)	キーボードハーモニー A	(2)
ピアノレパートリー B	(1)	キーボードハーモニー B	(2)
バロック鍵盤音楽レパートリー A	(1)	邦楽 1	(1)
バロック鍵盤音楽レパートリー B	(1)	邦楽 2	(1)

PA副科個人実技A	(2)	PA第2専攻個人実技B	(3)
PA副科個人実技B	(2)	PAアンサンブル弦楽	(1)
PA教職副科個人実技A	(1)	PAアンサンブル管楽	(1)
PA教職副科個人実技B	(1)	PAキーボード・インプロヴィゼーション	(1)
PA第2専攻個人実技A	(3)		

F 国際交流学部国際交流学科

導入演習	(1)	英語で学ぶグローバル問題	(2)
研究入門（国際交流学部での学び）	(2)	英語で学ぶ国際協力	(2)
研究入門（時事問題を学ぶ）	(2)	英語で学ぶ社会科学	(2)
研究入門（歴史から見る現代世界）	(2)	英語で学ぶ人文科学	(2)
基礎演習	(1)	ことばとフィールド（ヴェトナム）	(2)
国際交流への招待	(2)	ことばとフィールド（タイ）	(2)
国際関係論	(2)	ことばとフィールド（インドネシア）	(2)
人権保障と法	(2)	ことばとフィールド（フィリピン）	(2)
政治学概論	(2)	システム開発とプログラミング	(2)
SDGs入門	(2)	統計で学ぶ社会問題（基礎）	(2)
国際関係史	(2)	統計で学ぶ社会問題（応用）	(2)
文化外交	(2)	ヨーロッパ現地実習	(2)
時事問題からみる国際関係	(2)	オーストラリア現地実習	(2)
グローバル化と労働	(2)	Spring Abroad	(2)
グローバル化と生活	(2)	比較政治制度論	(2)
社会学概論A	(2)	国際政治	(2)
社会学概論B	(2)	国際平和論	(2)
グローバル化する社会	(2)	国際機構とグローバル・イシューズ	(2)
グローバル経済	(2)	国際経済学	(2)
国際交流の歴史	(2)	途上国と開発経済学	(2)
世界史概説A	(2)	現代日本の経済問題	(2)
世界史概説B	(2)	グローバル経済史	(2)
世界の宗教	(2)	開発援助論	(2)
日本史概説A	(2)	国際開発の理論と実践	(2)
日本史概説B	(2)	国際社会と法	(2)
日本の文化交流	(2)	国際経済と法	(2)
入門経済学1	(2)	セクシュアリティと法	(2)
入門経済学2	(2)	法でみる世界B	(2)
日本経済の歴史	(2)	比較法律家論	(2)
現代の日本経済	(2)	法でみる社会B	(2)
東アジアの近現代史	(2)	地域統合	(2)
東アジアの国際関係史	(2)	日米関係史	(2)
ヨーロッパ史	(2)	ヨーロッパ政治思想史	(2)
ヨーロッパ現代史	(2)	経営史	(2)
横浜学	(2)	イノベーションと社会	(2)
ジェンダーと法	(2)	グローバル・ビジネス	(2)
現代社会を理解するためのジェンダー理論	(2)	世界の格差と国際協力	(2)
地球環境	(2)	観光社会学	(2)
環境と開発問題	(2)	市民社会の国際協力	(2)
世界の人口問題	(2)	日本外交史	(2)
平和思想と運動	(2)	現代日本と国際関係	(2)
プロジェクトで学ぶ現代社会	(2)	南アジアの経済	(2)
Current Global Affairs	(2)	ヨーロッパの経済と社会	(2)
Japan Studies	(2)	ヨーロッパの地域開発と観光	(2)

フランスの政治	(2)	韓国の文化と社会	(2)
現代中国入門	(2)	コリアン・スタディーズ	(2)
東南アジアの政治	(2)	南アジアの文化と社会	(2)
ロシア研究	(2)	中東の文化と社会	(2)
ドイツ史	(2)	アフリカの文化と社会	(2)
南アジアの労働	(2)	フランスの文化と社会	(2)
アジア史概説	(2)	ファッションとアート	(2)
中国現代史	(2)	ブランド文化論	(2)
韓国現代史	(2)	ヨーロッパの文化とジェンダー	(2)
北朝鮮現代史	(2)	ヨーロッパ地域論	(2)
アジアの国際関係	(2)	キリスト教と文化	(2)
アジアの環境問題 1	(2)	アジアの宗教と思想	(2)
アジアの環境問題 2	(2)	政治思想論	(2)
アジア現地実習	(2)	思想文化論	(2)
ユーラシアの国際関係	(2)	ヨーロッパ世界の芸術	(2)
北ヨーロッパの歴史	(2)	スペイン語圏の文学	(2)
イギリスの政治と社会 1	(2)	イギリス史 1	(2)
イギリスの政治と社会 2	(2)	イギリス史 2	(2)
アメリカの政治	(2)	イギリス史	(2)
アメリカの外交	(2)	現代イギリス論	(2)
アメリカと国際経済	(2)	イギリスの思想と宗教	(2)
現代アメリカ論 1	(2)	イギリスの文化	(2)
現代アメリカ論 2	(2)	アメリカの文化 1	(2)
カナダの社会	(2)	アメリカの文化 2	(2)
アフリカを学ぶ	(2)	アメリカ史	(2)
中東を学ぶ	(2)	アメリカ社会史	(2)
平和構築	(2)	アメリカの思想と宗教	(2)
人権と世界政治	(2)	オーストラリアの社会と文化 1	(2)
安全保障	(2)	オーストラリアの社会と文化 2	(2)
東アジアの安全保障	(2)	環境教育の理念と実践	(2)
国際協力特殊講義	(2)	スポーツと国際社会	(2)
日本政治思想史	(2)	比較スポーツ論	(2)
日本社会史	(2)	文化交流特殊講義	(2)
現代社会に見る日本文化	(2)	市民参加の社会形成	(2)
フランス史	(2)	Globalization Studies	(2)
スペイン史	(2)	コーポレート・ガバナンスと日本企業	(2)
スペインの文化と社会	(2)	アジア経済論	(2)
ラテンアメリカの歴史と文化	(2)	金融入門	(2)
スペイン語圏の文化と社会	(2)	金融論	(2)
ラテンアメリカ文化論	(2)	マーケティング論	(2)
文化交流論	(2)	国際交通論	(2)
比較文化論から見た芸能	(2)	情報が世界を変える	(2)
翻訳と文化	(2)	社会を読み解くデータサイエンス基礎	(2)
アジア共同体研究	(2)	社会を読み解くデータサイエンス応用	(2)
メディア文化と社会	(2)	横浜学実習	(2)
若者の文化と社会	(2)	地方分権と市民社会	(2)
情報発信と世界	(2)	人文地理学	(2)
イスラームと世界	(2)	自然地理学	(2)
中国の文化と社会	(2)	地誌	(2)
中国の近現代文学	(2)	都市生活の空間デザイン	(2)
中国の文化と芸術	(2)	住空間デザイン	(2)

環境共生型ライフスタイル	(2)	地域と食文化	(2)
ジェンダーと持続可能な開発	(2)	中国の環境と開発	(2)
環境と持続可能性のまちづくり	(2)	農環境体験実習	(2)
持続可能な資源利用	(2)	海外環境フィールド実習	(2)
社会政策論	(2)	海外エコツーリズム実習	(2)
身体と生命の社会学	(2)	グローバル化する仕事と家族	(2)
家族の比較文化論	(2)	在日外国人	(2)
ヨーロッパ社会史	(2)	余暇と旅行	(2)
北ヨーロッパの福祉社会	(2)	観光文化論	(2)
格差社会とアイデンティティ	(2)	民族問題から見た世界情勢	(2)
若者の労働環境	(2)	移住と文化の理論	(2)
若者の社会参加とSDG s	(2)	国際ブランド・ビジネス	(2)
英語で学ぶグリーン経済と農業	(2)	人間環境特殊講義	(2)
英語で学ぶグリーン経済とエネルギー	(2)	専門演習	(1)
地域ブランドの育て方	(2)	卒業論文	(6)

備考 2014年度入学者に適用する専門科目は、「イギリス史1」は「イギリス史A」、「イギリス史2」は「イギリス史B」、「イギリスの文化」は「イギリス文化論総説A」、「アメリカの思想と宗教」は「アメリカの思想・宗教A」と読み替える。

別表第3（第3条関係）

教職に関する科目

（ ）内は単位数

2018年度以前入学者

教職入門	(2)	社会・地理歴史科教育法Ⅱ	(2)
教育原理	(2)	社会・公民科教育法Ⅰ	(2)
教育思想	(2)	社会・公民科教育法Ⅱ	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の理論と実践	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法Ⅰ	(4)	生徒・進路指導の理論と方法	(2)
英語科教育法Ⅱ	(4)	教育相談	(2)
国語科教育法Ⅰ	(4)	教育実習1	(1)
国語科教育法Ⅱ	(4)	教育実習2	(2)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	教育実習3	(2)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	教職実践演習（中・高）	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	(2)		

2019～2021年度入学者

英語科教育法Ⅰ	(4)	教育心理学	(2)
英語科教育法Ⅱ	(4)	特別支援教育の基礎と方法	(1)
国語科教育法Ⅰ	(4)	教育課程論	(2)
国語科教育法Ⅱ	(4)	道德教育の理論と実践	(2)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	総合的な学習の時間の指導法	(1)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	特別活動	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	(2)	教育方法・技術	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅱ	(2)	生徒・進路指導の理論と方法	(2)
社会・公民科教育法Ⅰ	(2)	教育相談	(2)
社会・公民科教育法Ⅱ	(2)	教育実習1	(1)
教育原理	(2)	教育実習2	(2)
教育思想	(2)	教育実習3	(2)
教職入門	(2)	教職実践演習（中・高）	(2)
教育社会学	(2)		

2022年度以降入学者

英語科教育法Ⅰ	(4)	教育心理学	(2)
英語科教育法Ⅱ	(4)	特別支援教育の基礎と方法	(1)
国語科教育法Ⅰ	(4)	教育課程論	(2)
国語科教育法Ⅱ	(4)	道德教育の理論と実践	(2)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	総合的な学習の時間の指導法	(1)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	特別活動	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	(2)	教育の方法・技術（情報通信技術の活用含む）	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅱ	(2)	生徒・進路指導の理論と方法	(2)
社会・公民科教育法Ⅰ	(2)	教育相談	(2)
社会・公民科教育法Ⅱ	(2)	教育実習1	(1)
教育原理	(2)	教育実習2	(2)
教育思想	(2)	教育実習3	(2)
教職入門	(2)	教職実践演習（中・高）	(2)
教育社会学	(2)		

別表第4（第3条の2関係）

日本語科目及び日本事情に関する科目

（ ）内は単位数

（外国人留学生対象）

大学で学ぶ日本語Ⅰ	(1)	日本事情A	(2)
大学で学ぶ日本語Ⅱ	(1)	日本事情B	(2)

別表第5（第18条関係）

卒業に必要な単位

A 文学部

2015年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	36	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を修得とする。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2017年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅰ」以外のキリスト教科科目から2単位並びにキリスト教科科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2018年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅰ」以外のキリスト教科科目から2単位並びにキリスト教科科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	20又は22	10、16 又は22	10、16 又は22	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

B 音楽学部

2014～2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎 教養科目・総合課題科目から各2 単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件 として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	
専門 科目	卒業プロジェクト又 は卒業公開演奏	6	4	
	2年次修了公開演奏		2	
	選択必修科目	34	40	
合計	区分の規定に従って 取得した単位数と共 通科目、専門科目及 び教職に関する科目 を通じて自由に選択 して取得した単位数 の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科 目のうち、専門科目は、所属学部 及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2017～2018年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅰ」以外のキリスト教科科目から2単位並びにキリスト教科科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	8	8	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	4	
	2年次修了公開演奏		2	
	選択必修科目	34	40	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2019年度以降入学者

区分		卒業に必要な単位数	備考
		音楽芸術学科	
共通科目	CLAコア科目	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅱ」、「キリスト教Ⅲ」、「キリスト教Ⅳ」から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	語学科目	10又は22	
専門科目	卒業プロジェクト	6	
	選択必修科目	38	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

C 国際交流学部

2009～2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数	備 考
		国際交流学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	
	語 学 科 目	10又は22	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒 業 論 文	6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	8	
	選択必修科目	32	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2017年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数	備 考
		国際交流学科	
共通 科目	CLAコア科目	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅰ」以外のキリスト教科目から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文	6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	8	
	選択必修科目	32	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2018年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数	備 考
		国際交流学科	
共通 科目	CLAコア科目	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅰ」以外のキリスト教科目から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	10、16又は22	
専門 科目	卒 業 論 文	6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	8	
	選択必修科目	32	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

別表第 6（第35条関係）

入学検定料

文学部 音楽学部 国際交流学部	35,000円
大学入学共通テスト 利用入学試験	15,000円

別表第 7－1（第36条の 4 関係）

学生納付金（2016年度以前入学者）

A 文学部、国際交流学部

[入学金、学納金]

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	———	入学手続時のみ
学納金	授業料（基本額）	355,000円	355,000円	在学中
	実習費	7,500円	7,500円	在学中
	施設設備費	142,500円	142,500円	
納付総額	入学初年度	1,310,000円（うち入学手続時 805,000円）		
	入学翌年度以降	1,010,000円		

備考

音楽学部開講の実技科目（P A科目）を履修する者の当該学期の納入すべき授業料は、上記授業料（基本額）にP A科目実技料を加えた額とする。なおP A科目実技料は、音楽学部学納金に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

前期	後期
181,250円	181,250円

B 音楽学部

[入学金、学納金]

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	———	入学手続き時のみ
学納金	授業料（基本額）	355,000円	355,000円	在学中
	実習費	27,500円	27,500円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	1,506,500円（うち入学手続き時 903,300円）		
	入学翌年度以降	1,206,500円		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	———	入学手続き時のみ
学納金	授業料（基本額）	590,000円	590,000円	在学中
	実習費	55,000円	55,000円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	2,031,500円（うち入学手続き時 1,165,800円）		
	入学翌年度以降	1,731,500円		

備考

- 1 納入すべき授業料は、実技科目の履修に応じ、上記授業料（基本額）に次のPA科目実技料を加えた額とする。

個人実技〔1楽器等あたり〕	50,000円（1単位につき）
グループ実技	30,000円（1単位につき）

- 2 演奏学科授業科目「専攻実技ⅠA・B～ⅣA・B」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	前期	後期
音楽芸術学科	191,250円	191,250円
演奏学科	322,500円	322,500円

別表第 7－2（第36条の 4 関係）

学生納付金（2017年度以降入学者）

A 文学部、国際交流学部

[入学金、学納金]

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	—	入学時
学納金	授業料（基本額）	412,500円	412,500円	在学中
	施設設備費	142,500円	142,500円	
納付総額	入学初年度	1,310,000円（うち入学時 755,000円）		
	入学翌年度以降	1,110,000円		

備考

音楽学部開講の実技科目（P A科目）を履修する者の当該学期の納入すべき授業料は、上記授業料（基本額）にP A科目実技料を加えた額とする。なおP A科目実技料は、音楽学部学納金に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

前期	後期
206,250円	206,250円

B 音楽学部

[入学金、学納金]

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	———	入学時時のみ
学納金	授業料（基本額）	432,500円	432,500円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	1,506,500円（うち入学時時 853,300円）		
	入学翌年度以降	1,306,500円		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	———	入学時時のみ
学納金	授業料（基本額）	695,000円	695,000円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	2,031,500円（うち入学時時 1,115,800円）		
	入学翌年度以降	1,831,500円		

備考

- 1 納入すべき授業料は、実技科目の履修に応じ、上記授業料（基本額）に次のPA科目実技料を加えた額とする。

個人実技〔1楽器等あたり〕	50,000円（1単位につき）
グループ実技	30,000円（1単位につき）

- 2 演奏学科授業科目「専攻実技ⅠA・B～ⅣA・B」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	前期	後期
音楽芸術学科	216,250円	216,250円
演奏学科	347,500円	347,500円

別表第 8（第43条関係）

科目等履修生受講料等

選考料 （ただし、本学卒業生及び国費留学生 は無料とする。）	5,000円
登録料・施設設備利用料	5,000円
受講料（1単位につき） 講義科目 実習又は演習科目 音楽学部実技科目	5,000円 10,000円 30,000円
単位認定料（1単位につき） 講義科目 実習又は演習科目 音楽学部実技科目	7,500円 15,000円 20,000円